

# 4. 住民にとって魅力ある場所とは

## 4-1. 住民が感じる価値・魅力の構造

### ● 手続き

#### ● 上位概念の抽出

➤ 調査後にネットワーク図として整理した全回答者個人のデータを見直し、共通する上位概念を抽出

- 安心
- 便利(活動しやすい、生活しやすい、自由)
- 楽しい(ワクワク、ポジティブ)
- 活気、エネルギー(自分も頑張ろうと思う、元気がもらえる…)
- 開放感、気持ちよさ(のびのび)
- 落ち着く、リラックス(ボーっとできる、気分転換)
- ほのぼの、癒し(ほっとする、気が楽)
- 人間関係豊か、子供によい
- 文化的に豊か
- しっくりくる
- 愛着、親しみ(自分史上大事である)

「人を主語」とした上位概念は、それほどバリエーションはなかった！

地域、個人の差による濃淡はあるが、無理なくまとめることができた。

## ● カテゴリリストの作成

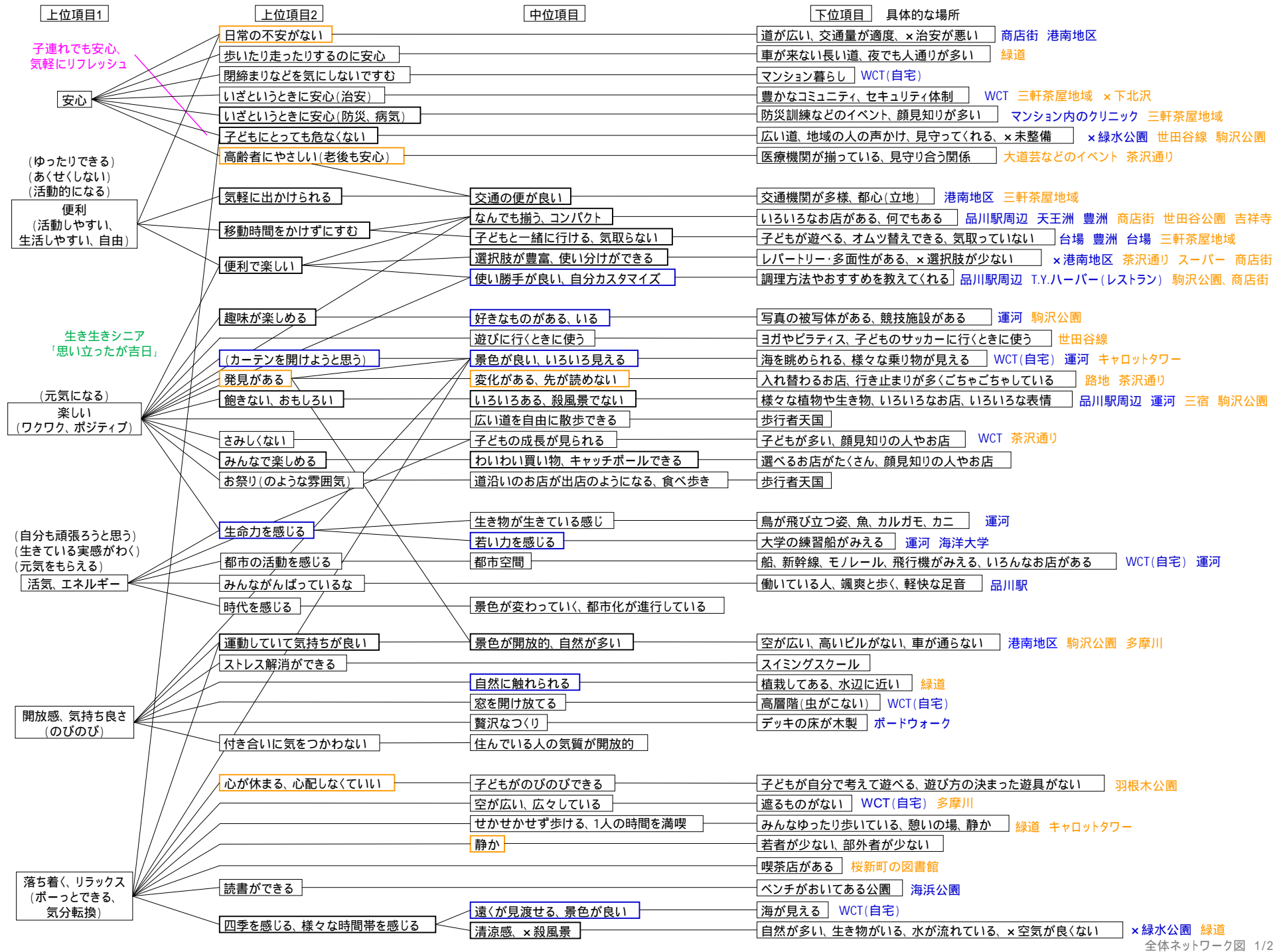
- 全個人データを、抽出された上位概念ごとに分割、再整理
- 上位(人が主語)・中位(まち、場所が主語)・下位(具体的な場所)の項目に振り分けて、カテゴリリストを作成

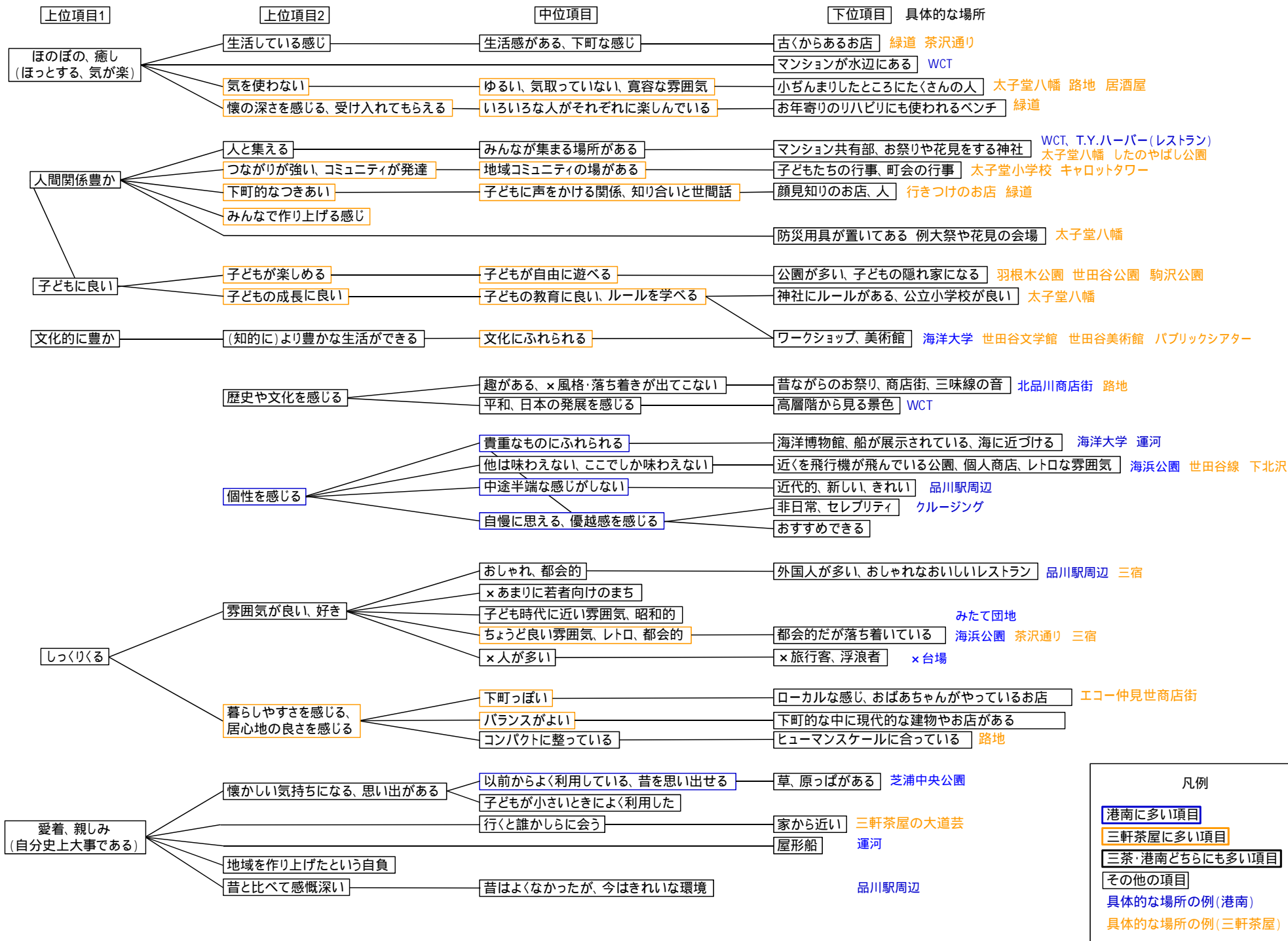
## ● 全体ネットワーク図の作成

- カテゴリリストを元に、情報を要約して1枚の「全体ネットワーク図」を表す
  - 上位項目は要約せずに残した。
  - 上位項目間の関連がみえるように配慮した。
  - 中位以下の項目は、適当に省略し、代表的な言葉・ネットワークのみを掲載した。

# カテゴリリスト例

上位項目(人が主語): <b>安心</b>		
中位項目	下位項目(その場所の状態)	具体的な場所例
日常の不安がない	道が広い 交通量が適度、車が来ない × 不審者、不審な車がいた × 知らない人が増える × 治安が悪い × 1Rが増える	学校近くの公園 商店街 港南地域(×も) × 三軒茶屋地域
走ったり歩いたりするのに安心	車が来ない長い道 都会でありながら緑の中を抜けて多摩川までいける 夜でも人通りが多い	緑道
戸締りなどを気にしないですむ	マンション暮らし(×戸建て)	マンション
いざというときに安心 (×治安上の不安)	豊かなコミュニティ セキュリティ体制(マンション)	マンション 三軒茶屋地域 × 下北沢
いざというときに安心 (×防災上の不安) 病気になっても安心	災害の際に避難所が近い 防災訓練などのイベントがある 顔見知りが多い 横のつながりが強い × 道が狭い × 消防車が入ってこられない	マンション内にクリニック 世田谷公園 三軒茶屋地域(×も)
子どもにとっても危なくない	広い道 広い芝生 車が通れない 見守ってくれている 下町っぽい近所づきあいがある 国道を渡らせずにすむ サイクリングコースがある みんな知り合い 地域の人声かけ 地域の人が学校の授業に参加 登校を見守ってくれる 地元の人が多い × 工事中、整備中	 <p>× 緑水公園 <span style="margin-left: 20px;">緑水公園(現在、整備前)</span></p> <p>× 学校近くの公園</p> <p>芝浦中央公園 商店街 緑道 三軒茶屋地域 世田谷線 駒沢公園 吉祥寺</p>  <p>世田谷線</p>





凡例

- 港南に多い項目
- 三軒茶屋に多い項目
- 三茶・港南どちらにも多い項目
- その他の項目
- 具体的な場所の例(港南)
- 具体的な場所の例(三軒茶屋)

- **都市居住者が求める「まちの魅力・価値」**
  - ひとつのネットワーク図に無理なくまとめられた。
    - 特徴の異なる地域でさまざまな方をお願いしたが、自然にラダーアップできた。
  - **利便性のラダーアップができた**
    - 便利だと「自由になる」「あくせくしない」「ゆったりできる」、その結果「活動的になる」。
    - 利便性は「活動しやすさ」の指標で、都市圏居住に必須の価値。
  - **都市を俯瞰することのメリットを具体的に把握できた**
    - 「飽きない」「わくわくする」「楽しい」、そして「ぼーっとできる」「さみしくない」、さらには「みんながんばっているなと思う」「生きている実感がわく」「元気をもらえる」。
    - 都市景観、風景には「力」がある。

- 居住地域に求められているもの(上位概念、価値・魅力)は、地域・人を超えて共通項が多い

- ただし、各上位概念に紐付けられた具体的な場所(好きな場所)は、その様相がまったく異なっていることが多い。
- 「便利」 - 「なんでも揃う」「コンパクト」
  - 豊洲(港南)と茶沢通り商店街(三茶)
- 「活気」「エネルギー」 - 「生命力を感じる」
  - 運河(港南)と緑道(三茶)
- 「人間関係豊か」 - 「人と集える」
  - マンションのラウンジ等(港南)と太子堂八幡神社(三茶)

## 形は違っても、求めている何かは共通！

魅力や価値はそのまちに特徴的でなくても、地域のどこかに見出されれば、ある程度満たされる。「自然が多くはないが意外といい緑地がある」など

## 4-2 . 都市居住に求められる「5つの場」の提案

### ● 具象化の試み

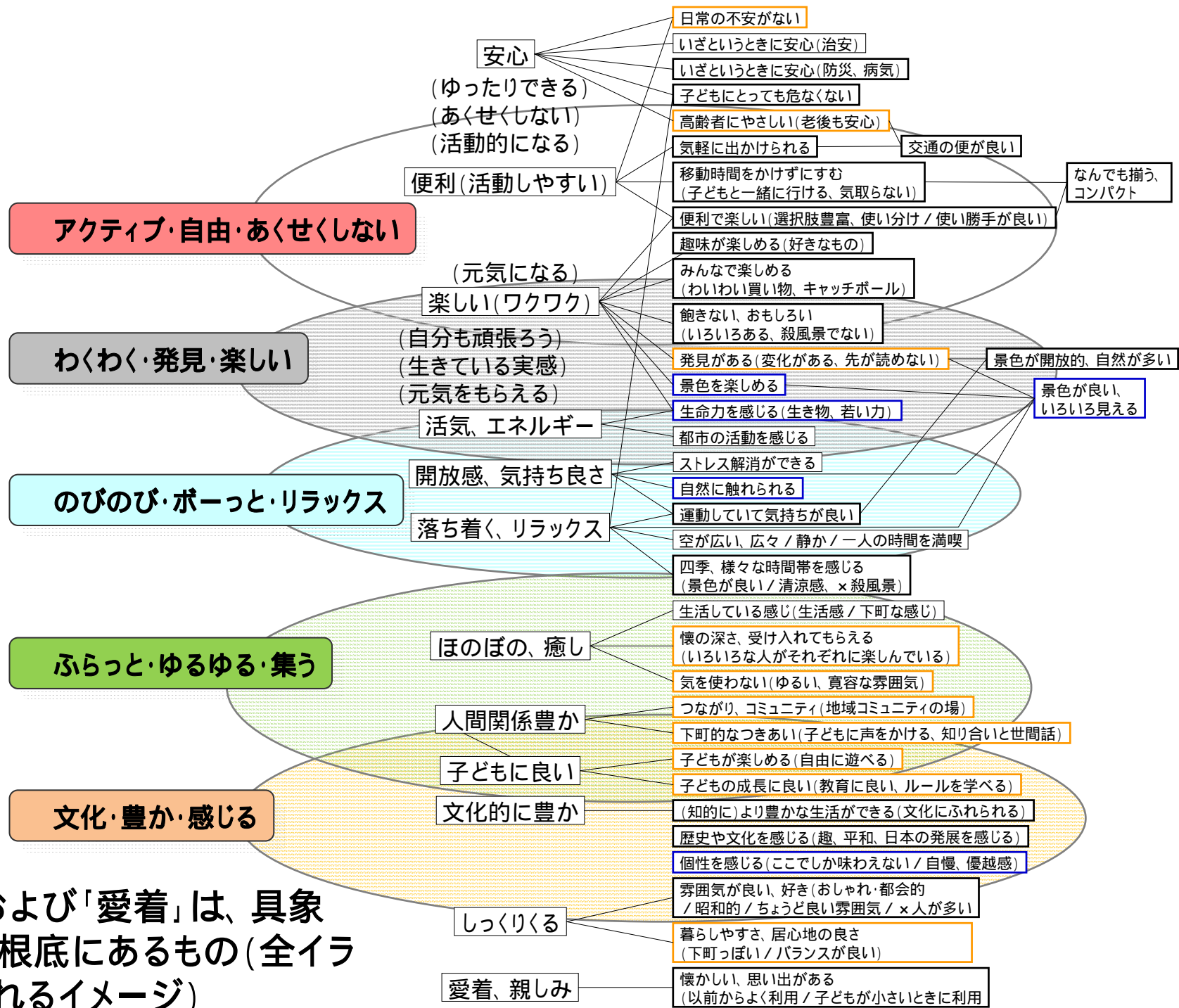
#### ● これまでの流れ

- 居住者個々人が「いい」「好き」と思う場所 をラダーアップして 都市居住者が地域に求めている価値・魅力 を得た。

#### ● この結果をわかりやすく伝えるために...

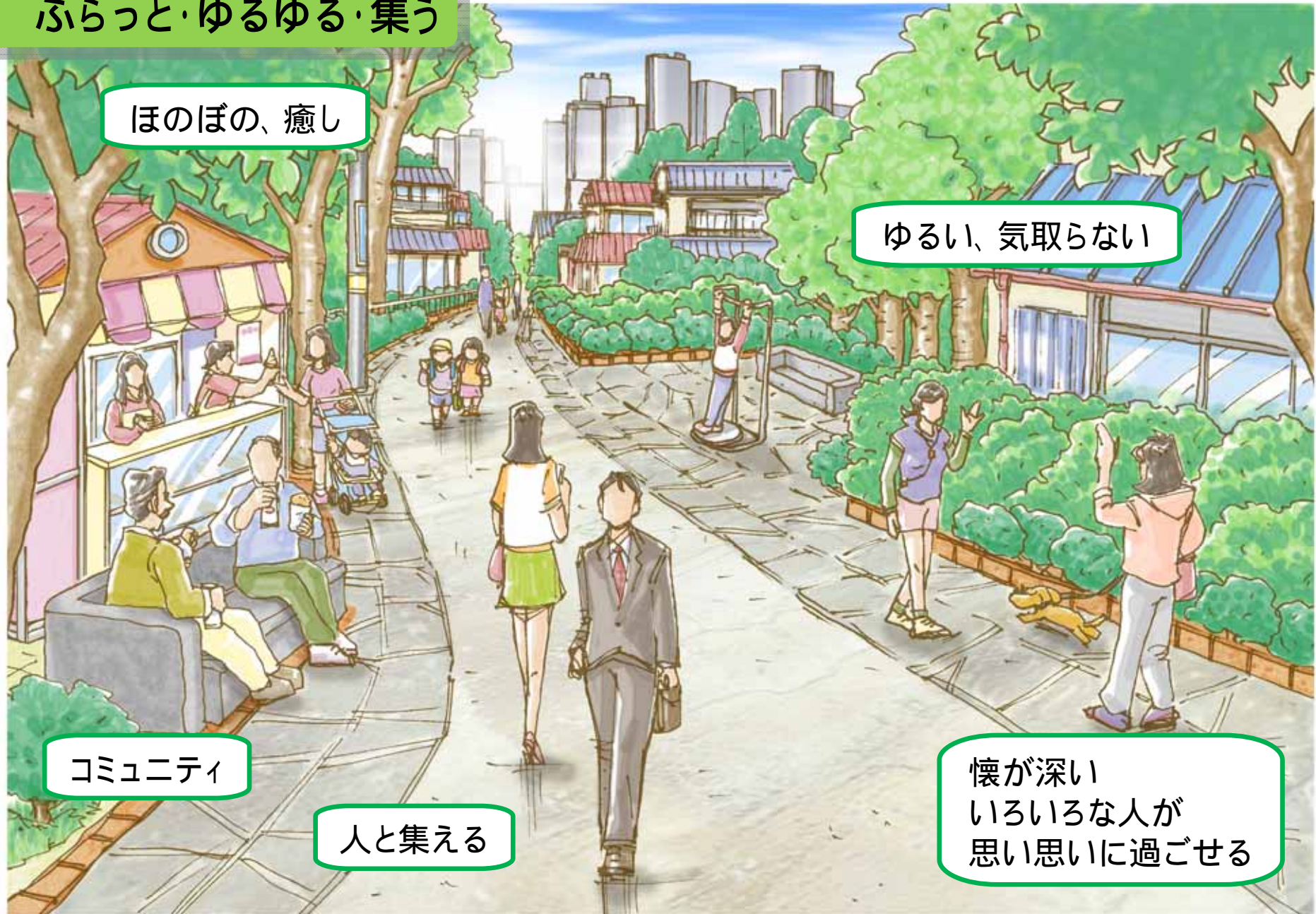
- 都市居住者が地域に求めている価値・魅力 をイメージできるような「具体的な場所」をイラストで表現



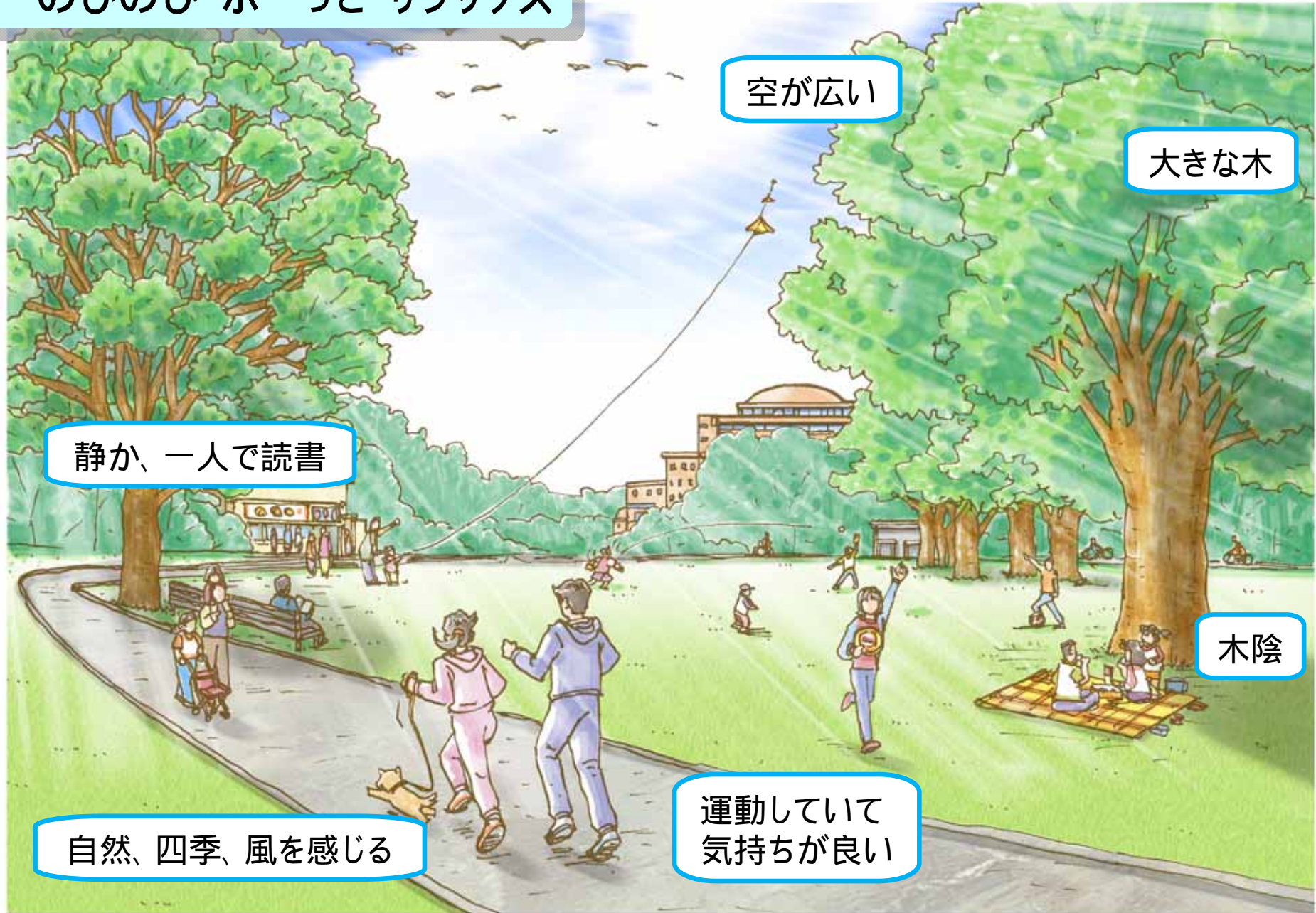


\*「安心」および「愛着」は、具象化できない根底にあるもの(全イラストに含まれるイメージ)

# ふらっと・ゆるゆる・集う



# のびのび・ポーっと・リラックス



空が広い

大きな木

静か、一人で読書

木陰

自然、四季、風を感じる

運動していて  
気持ちが良い

わくわく・発見・楽しい

活気・エネルギー

みんながんばっているな

おもしろい、あきない

都市の活動、  
変化、発見

元気をもらう

# アクティブ・自由・あくせくしない

気軽に出かけられる、  
疲れない、ゆったり

何でも揃う、コンパクト  
選べる楽しさ

手軽にリフレッシュ

身近な場所に非日常

発見がある、楽しい

文化・豊か・感じる

歴史・情緒

子どもの成長によい  
(ルールを学べる)

知的に豊か、い  
ろいろ学べる

趣、風格

地元にいながら  
文化に触れられる

## 4-3 . 今回の成果と課題・今後の提案について

### ● 主な成果

- ライフステージや居住地域を越えた、都市居住者共通のニーズ(まちの魅力・価値)に迫ることができた。
  - 上位概念(環境の価値・魅力)は共通項が多い。
  - これらをビジュアル化し、都市居住に求められる「5つの場」として整理、提案できた。
- 利便性の深堀ができた
  - 便利だと「あくせくしない」「ゆったりできる」、そして「活動的になる」。「日常の不安がない」ので「安心」にもつながる。
  - 利便性は「活動しやすさ」の指標で、都市圏居住に必須の価値。
- 都市の風景には「力」があることが分かった
  - 乗り物や人々の活動を一步引いてみることで、「自分も頑張ろう」と思ったり、元気をもらったりする。都市の風景には力がある。

評価グリッド法による個別インタビュー調査だからこそこの成果。

- 個別インタビュー調査だったからこそ、

### メリット

- 「地域」主語で世間相場を語るのではなく、「自分」を主語に自分にとっての魅力や価値を語ってもらえた。
- トリガーを「いい、好きと思う場所」にしたことで、抽象論に終始するのではなく、具体的なお話をお聞きできた。

### デメリット

- × 「歴史と伝統があるまち」「下町」など、違う個性のまちの居住者にインタビューができなかった。
- × 回答者層が若干偏ってしまった。

今後は、回答者層や地域を広げ、今回の結果がそのままいえるのか、いえないとしたらどうしてかの検証も必要。



- 今後に向けて

- ~ 「5つの場」の検証および発展に向けての提案 ~

- 「5つの場」でよいのかの検証

- 居住地域を増やし、回答者の偏りを少なくして、再度同じ調査を行なって検証する。
- さまざまな特徴を持つ都市環境に住む住民を対象に、「5つの場」を評価対象としたアンケート調査などを行い、居住地域であてはまる場所はあるか、ほかに「いい」「好き」と思う場所はないか、等を調べる。

- 「5つの場」をツールとして使うアイデア

- 「5つの場」を用いた居住環境評価、「あなたのまちの5つの場」写真コンクールなど
  - 地域の魅力を高める場所を探すツールとして利用する。
  - 誰もが認める要素、誰も写真にしない要素などを知ること、その地域のよいところや欠けている点が把握できるのでは？